

初声歯科新聞 Vol. 57

院長が25年以上前に考えた歯ブラシ

その昔、院長は本当に多くの歯ブラシを試してみたそうです。そして毛の長さ、硬さ、形状、ヘッドの大きさなどにこだわって、メーカーと一緒にオリジナルの歯ブラシを作りました。磨きやすく、汚れが落ちる！！今も初声歯科のロングセラーです。



ところが、世界では年間36億本の歯ブラシが、プラスチックゴミとなっている
という事実。

そのうち約4.5億本が日本の廃棄量だそうです。歯ブラシはリサイクルが難しく、燃えるゴミかプラスチックゴミとして分別されています。

★燃えるゴミ→二酸化炭素の排出

★プラスチックゴミ→リサイクルされるものは9%未満で、残りは焼却か埋め立て

歯ブラシ、みなさんはどれくらいの頻度で交換していますか？

ちなみに初声歯科では1か月に1度をおすすめしています。

歯ブラシをゴミにしたいくない運動が始まっている

★テラサイクルとライオン（株）の協働、「テラサイクル・プロジェクト」

使い終わった歯ブラシを回収して、植木鉢などの新しいプラスチック製品に作り変えています。初声歯科も数年前から参加しています。

★例えば星野リゾートでは、「歯ブラシを捨てない仕組み」に取り組んでおり、経営する宿泊施設内で使い終わった歯ブラシを、再び歯ブラシへリサイクルすることを実現したそうです。

サステナブルな歯ブラシも増えている

★バイオプラスチック歯ブラシ

トウモロコシやサトウキビなどの生物資源（バイオマス）が原料

★天然素材の歯ブラシ

毛：豚毛・馬毛・山羊毛

ハンドル：木製・竹製

★ヘッドだけ交換できる歯ブラシ

初声歯科でもいくつかの歯ブラシを買って、スタッフみんなで試してみました。

素材が良くても汚れが落ちなければ困ります。多くの歯ブラシは毛の先端に問題があるようで、毛先を細くした形状だと、刺さって痛い上に汚れが落ちないのだそう。ぱつんと切り揃えているのが良いそうです。

最近見つけた「TePeのGOODシリーズ」は、

毛：ひまし油由来のバイオベースポリアミド

ハンドル：サトウキビ由来のバイオベースポリエチレン

歯科予防先進国スウェーデンで開発された、環境に配慮した歯ブラシで、毛先はぱつんと切り揃えられており、ようやく探し求めていたものが見つかったか！と思ったのですが・・・



↑↑この緑の歯ブラシが TePe

少し毛が柔らかすぎるようで、そこまで汚れが落ちません。また価格が約400円/本と、少し高価でもあります。（値段は需要が増えれば下がるでしょうか！？）

近い将来、これぞという歯ブラシを、みなさんにご紹介できればと思っています。